

第208号

<編集・発行>



八多ふれあいの  
まちづくり協議会  
TEL 078-982-0514

# ふれまち八多

## 第2回「八多町夏まつり」 酷暑に負けず大盛況!



8月3日(土)、37度を超す猛暑の中、ふれあいセンターで第2回八多町夏まつりを実施し、昨年以上に大勢の人で賑わいました。従来の盆踊りを日時も場所も変え「夏まつり」としてリニューアルしました。午後4時30分開店と同時に芝生広場には大勢の子供たちが来てくれました。町内各種団体の主催する夜店も焼きそば、コロッケ、かき氷、ポップコーン、ベビーカーステラなど昨年より店の数も品目も充実、どの店も行列ができる大盛況でした。また、ゲーム部門では昨年の青少年協、児童館、PTAのほか、今年は新たに八多町自治協議会とパートナー協定を結んでいるIT企業(株)Honeycomeさんにも参加していただきました。詳細は4面をご覧ください。

午後5時30分スタートのステージではおなじみの八多学園の吹奏楽部・八多太鼓の素晴らしい演技に加え、今年は八多消防団の紹介による北島さんの「紙芝居」を上演、衣装もつけた本格的演技で昔なつかしい紙芝居を楽しみました。

また、こんなこともありました。途中、あまりにも来場する車が多すぎて駐車場である八多町公園のグラウンドに続く道路が大渋滞。急遽八多学園のグラウンドを臨時駐車場に開放していただき渋滞は解消しましたが、ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

多くの方のご協力で盛大に夏まつりが開催できましたことお礼申し上げます。いろいろと行き届きのあった点はしっかり反省し、来年はより素晴らしい夏まつりにできたらと思います。関係者の皆さんお疲れさまでした。



# ご長寿おめでとうございます



今年度の長寿者は  
273名

今年度の八多町の長寿者(80歳以上)は273名で、最高齢は101歳でした。ご長寿おめでとうございます。地区長さんを通じてささやかな祝い品をお渡ししましたので、お受け取りください。長年にわたっているりと八多町の諸活動にご支援・ご協力をいただきましたこと、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。今後とも、いつまでもお元気でますますのご活躍をお祈り申し上げます。

なお、各地区ごとの人数は下記の通りです。(令和6年8月30日現在)

地区名	中	下小名田	上小名田	吉尾	柳谷	附物	深谷	屏風	西畑
人数	38	16	35	36	30	46	16	41	15



6月17日(水)、はなみずき会で兵庫県警と有馬警察署のご協力で交通安全教室を実施いただきました。夏の交通事故防止運動の期間中でもあり、全国的にも高齢者の交通事故が多発しているようで、最初に担当の警察官から交通事故のお話を聴きました。その後、大きなモニターを使用して実際に横断歩道を渡る体験もしました。最近では八多街道を走行する車の量も大幅に増加して、信号のない横断歩道を渡るのも危険な状況です。交通事故にあわないよう、また、交通事故を起こさないよう一人一人が交通ルールをしっかりと守るよう心がけましょう。



昨年11月から「はた資源回収ステーション」がスタートしたこともあり、ふれあいセンターで環境に関する出前トークを実施してきました。今回は現在神戸市で進めている生ごみ減量プロジェクトの「こうべキエーロ」を取り上げました。参加者は約40名。

神戸市の「燃えるゴミ」の約3分の1を占める「台所ゴミ(生ゴミ)」を削減するため、微生物によって生ゴミを分解するキエーロに注目。「キエーロ」の考案者は神奈川県在住の松本さん。名前の由来は「(生ゴミ)消えろ」から。

一般社団法人オンドの講師から神戸市環境局が推進しているキエーロのしくみ(土の中の好気性微生物が有機物(生ゴミ)を発酵させて分解すること)や・作り方・使い方をわかりやすく説明していただき、多くの市民が「キエーロ」に取り組むことが生ゴミの削減につながるということがわかりました。帰りには容器と土をいただきました。後は、実践あるのみ。多くの方が「キエーロ」に取り組み、生ゴミ削減に協力しましょう。よろしくお祈りします。

## 令和6年度 八多学園のびのび広場 (ふれあいタイム)

★★ 2学期の予定★★

日	曜日	時間	担当団体	学年
10月11日	金	14時50分～15時40分	青少協	1・2年
11月15日	金	15時50分～16時40分	自治会	5・6年
12月2日	月	15時50分～16時40分	消防団	3・4年



## 空き家活用・移住定住の取り組み

八多町では、2年程前から空き家活用・移住定住の取り組みに力を入れています。空き家情報をお持ちの方、空き家でお困りの所有者さんがいましたら、各集落の地区長さんや八多出張所まで気軽にご相談ください。

### ① 八多町に移住したい人がたくさんいます！

移住希望者向けホームページが開設（令和4年9月～）してから約2年。八多町への移住を希望して、現時点で66組の方が登録されています。市街地からのアクセスが良い点や義務教育学校開校で教育環境に注目が集まっており、子育て世代が18組、お店や起業も考えている方が24組など、若い世代からの問合せが多くなっているようです。

### ② 活用されないまま眠っている「空き家」ありませんか？

「空き家おこし協力隊」として委嘱（令和5年6月～）を受けている「八多町自治協議会」。既に、地域からの声掛けで2件（附物・屏風）、意向調査表の送付に反応があった1件（西畑）、計3件が空き家バンク登録<sup>(※)</sup>につながっています。

(※)登録物件の購入者（移住者）に対して改修費補助あり（最大200万円）



空き家内見会の様子

### ③ 早めの相談がWin-Winマッチングにつながります！

農村定住促進コーディネーター業務を受託している「どーんと八多を楽しく元気にする会」では、空き家バンク登録物件と移住希望者とのマッチングを行っています。6月に実施した内見会には16組の申込があり、そのうち6組が購入希望と「八多町での田舎暮らし」に注目度が集まっている一方で、「もう少し早く相談してくれていれば……」と感じるケースが多いです。地域としても若い世代に入ってきてもらいたい反面、建物の状態が悪い⇒すぐに住めない⇒改修が必要⇒予算オーバー……とミスマッチが発生。建物の状態が良ければ、賃貸が可能、売却の場合も資産価値が高くなります。

## 夏まつり特集

### 八多児童館 30周年記念

### 夏まつり「八多シーワールド」



7月20日（土）10時より、たけのこクラブ（八多子育てコミュニティ）主催の夏まつりを、八多児童館で開催しました。

今年は児童館の30周年を記念した夏まつりで、テーマは「八多シーワールド」です。8個のコーナーは、ジョーズにパッケン（シューティングゲーム）・さかな射的・サメ引き（千本引き）・さかなをポン（だるま落とし）・さかなをねらえ

（水鉄砲）・おかしつり・オールスターフィッシュスーパーボール・スイスイこまの製作所でネーミングや内容も楽しさ満点、遊び心満載でした。

当日は、22名の小学生と14組の親子が参加され、お手伝いには、ふれまち・八多青少年育成協議会・八多学園PTAの方々に来てくださり、一緒に楽しい時間を過ごすことができました。参加した子ども達の、的を狙う真剣な眼差しや失敗を恐れずにチャレンジする姿があらこちらで見られ、児童館全体が熱気に包まれました。最後に、景品をゲットして笑顔いっぱいの子供達に、30周年記念クリアファイルをお渡しして夏まつりが終了しました。

参加してくださった皆様、お手伝いをしてくださった皆様、本当にありがとうございました。

## 「すくすく広場」の夏まつり

前回の207号で「すくすく広場」がピンチと書きましたが、7月16日（火）の夏まつりは18組の親子（子供は20人）と多くの親子の参加がありました。やはり元気な子供の姿はいいですね。スタッフもパワーをもらいました。みんな「わなげ」や「金魚すくい」「ボウリング」「お菓子つり」など用意された各コーナーを回って元気いっぱい遊びました。「じゃがいもすくい」や「玉ねぎ釣り」など八多町ならではの工夫もあり、景品もたくさんゲットできました。スタッフのみなさん、お世話になりました。今後ともすくすく広場に大勢のちびっ子たちが来てくれるよう待っています。

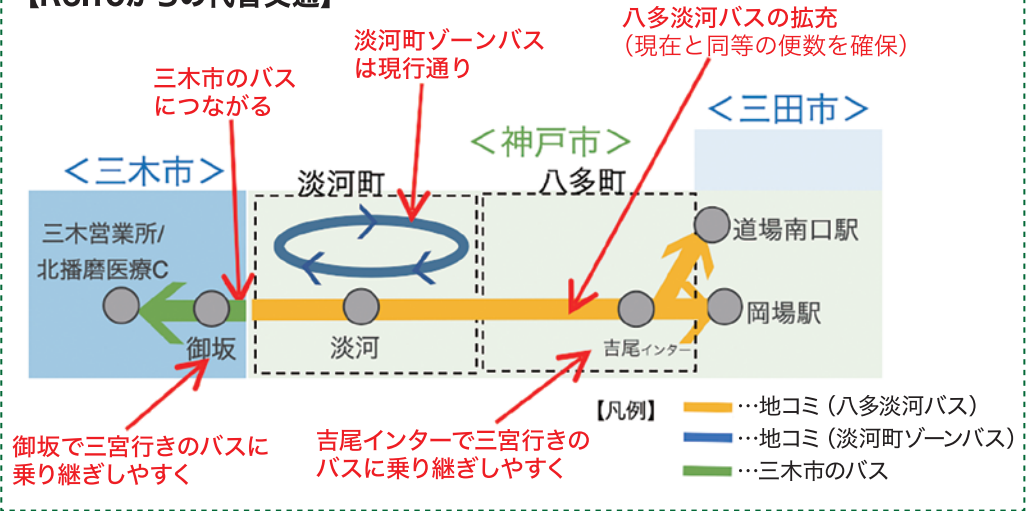


## 路線バス「三木～三田線」の代替交通について

この度、令和6年9月30日をもって神姫バス(株)が運行していた路線バス「三木～三田線」が休止されることになりました。そのため、休止後の地域の足を確保するため、地域(八多町、淡河町)・行政(神戸市)・運行事業者(神姫バス株式会社)で検討を行ってきました。その結果、10月1日より八多淡河バスを三木方面に延伸するとともに、便数を拡充し、ダイヤも新たに試験運行を実施することになりました。「八多淡河バス」の運行を維持するため、「乗って支える」取り組みにご協力をお願いします。

なお、10月からの新しいダイヤを同時に配布しますのでよろしくお願いたします。

### 【R6.10からの代替交通】



## 夏まつりのARゲーム、体験しましたか？

### 「八多楽(はたらく)ITパートナー」株式会社Honeycomeが初出店



八多町夏まつりに、普段とは違った一風変わったコーナーがオープンしていましたが、ご覧になりましたか？

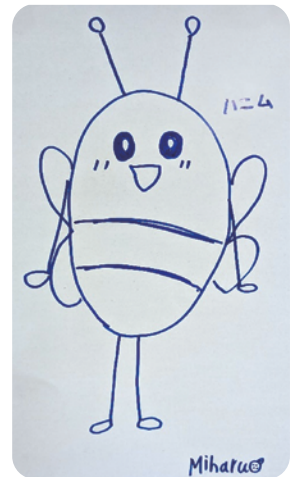
ITと文化の融合をめざしたHoneycomeのインターン留学生作成のARゲームです。平面写真を直接スマホ画面に映すことで回りの背景の上に立体画像が浮かび上がってくる体験プログラム。このシステムをpalanARを使用してわずか5日間で完成させたのがインドネシア、中国、ベトナムからの留学生3人です。当日は、日本語ペラペラのインドネシア人のリコさん、中国人の孫さんが丁寧に接客されていました。日本の地元の夏まつりを楽しんでいただき、素敵な交流をしていただきました。

また大和CEOはじめ3名の役員の皆さまも勢ぞろいで参加していただきました。この技術は、今後八多町の観光マップなどにも応用できる展望があると感じました。

さて本紙でも紹介しましたが、昨年の4月21日に八多町自治協議会は株式会社Honeycomeと「はた(傍=八多)を楽にすること」を目的に、様々な活動を連携して行おうという協定を締結しています。

協定内容は、①地域課題の解決、②八多学園への支援活動、③その他(傍=八多)を楽にすることを実現するため互いに協力することです。

今回、初めてのコラボ事業になりましたが、今後ともHoneycomeさんとの協力事業について、「八多学園でIT教室をやってほしい！」など「あんなこといいな、できたらいいな」をお寄せください！なお、この協定を象徴するキャラクターとして胸に八多の8を付けた、かわいいミツバチ「ハニム8」が選任されましたが、そのデザイン原画の作者である、東京都の小学6年生田中美陽(みはる)さんも、妹の小学校2年生千紘(ちづる)さんと一緒にお手伝いいただき、会場を盛り上げていただきました。



### 編集後記

今月号は「夏まつり」特集です。猛暑の中、八多町夏まつり・児童館夏まつり・すくすく広場夏まつりが終了。それぞれに工夫もあり、大勢の参加がありました。関係者のみなさんご苦労様でした。それにしても今年の夏は本当に暑い、体調管理には十分ご注意ください。

さて、10月からは「八多淡河バス」が変わります。新しいダイヤを配布しましたので、乗車協力よろしくお願いたします。